

# “福祉×〇〇”でまちづくりと共生社会の実現を両立

## 【活動概要・他にもありそうな課題】

### 《活動》

発達障がい・精神障がい等の目に見えない障がいのある人の就労支援を行っている。また、大人の女性を対象に、安心して通える場所を提供し、地域の伝統産業や観光業と連携し、魅力的な仕事の創出に取り組んでいる。

### 《課題》

- 地域課題に関連するソーシャルビジネスを持続可能にするためには安定的な資金調達が必要。
- 働き手が不足している。
- 女性の障がい者や、発達障がい者のスキルを活かせる仕事が少ない。



## 【マネできそうな手順や実例】

### 《手順》

- ① 障がいのある人たちの得意を活かせる仕事内容と、地域のニーズとの掛け合わせで事業計画をつくる。
- ② 初期費用などに掛かるお金を集める。(クラウドファンディングなど)
- ③ **福祉×〇〇**で単体では難しいプロジェクトを福祉のコラボにより実現!!



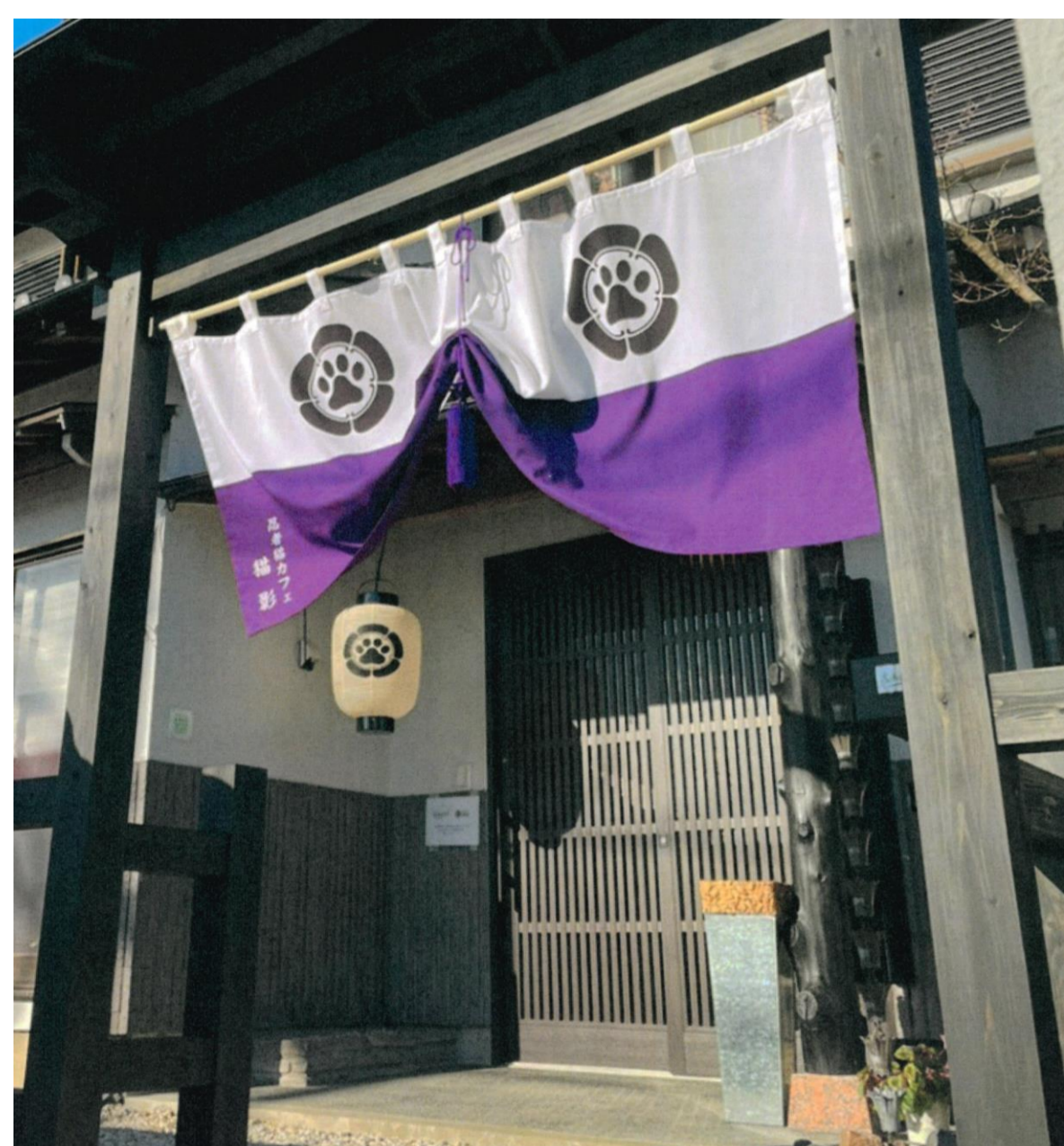
### 《実例》

#### 猫影 福祉×保護猫活動

忍者をイメージした、まるでテーマパークのような保護ネコカフェ。

「人と関わるのは苦手だけど、動物は大好き！」という声から生まれた。

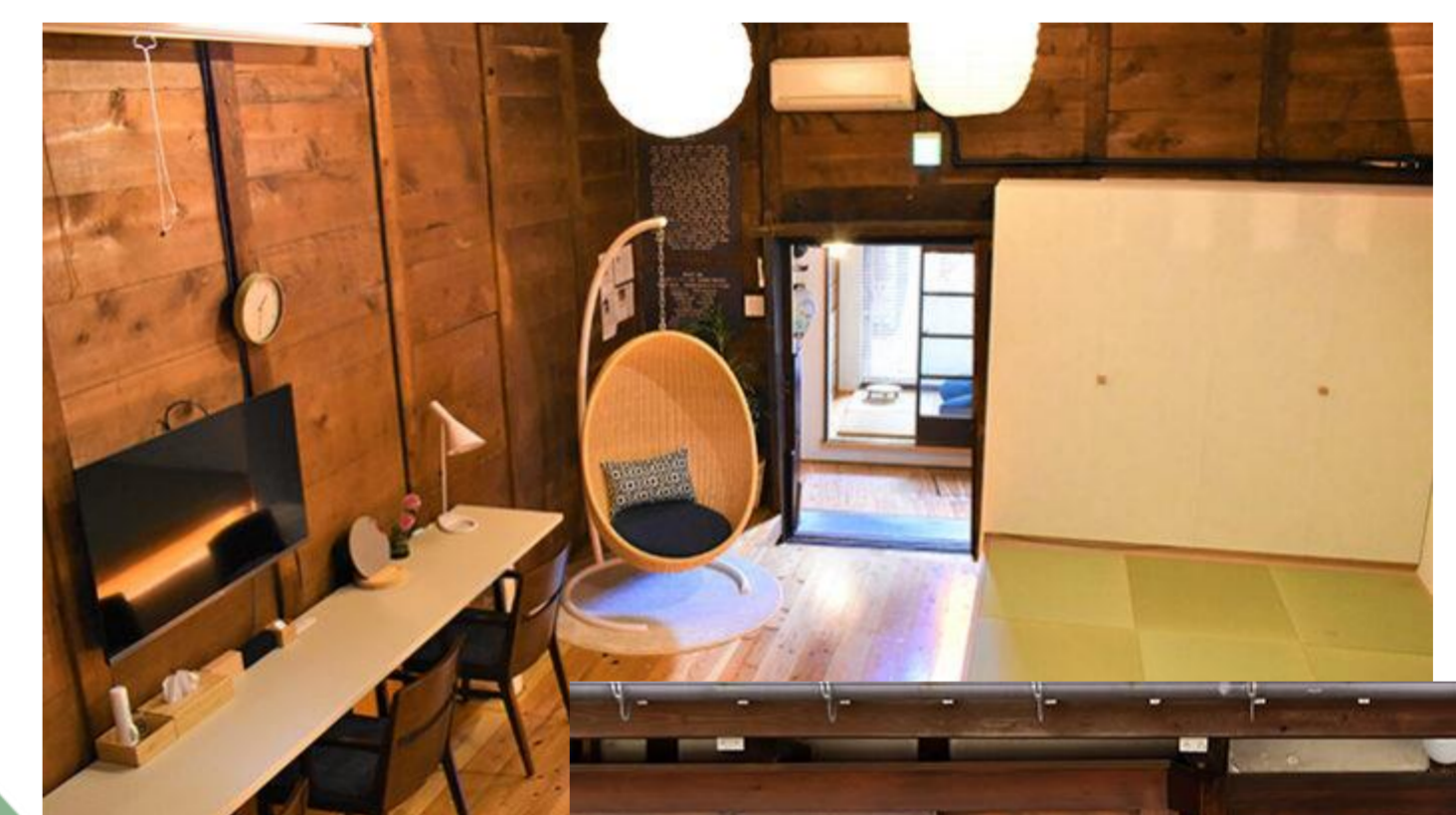
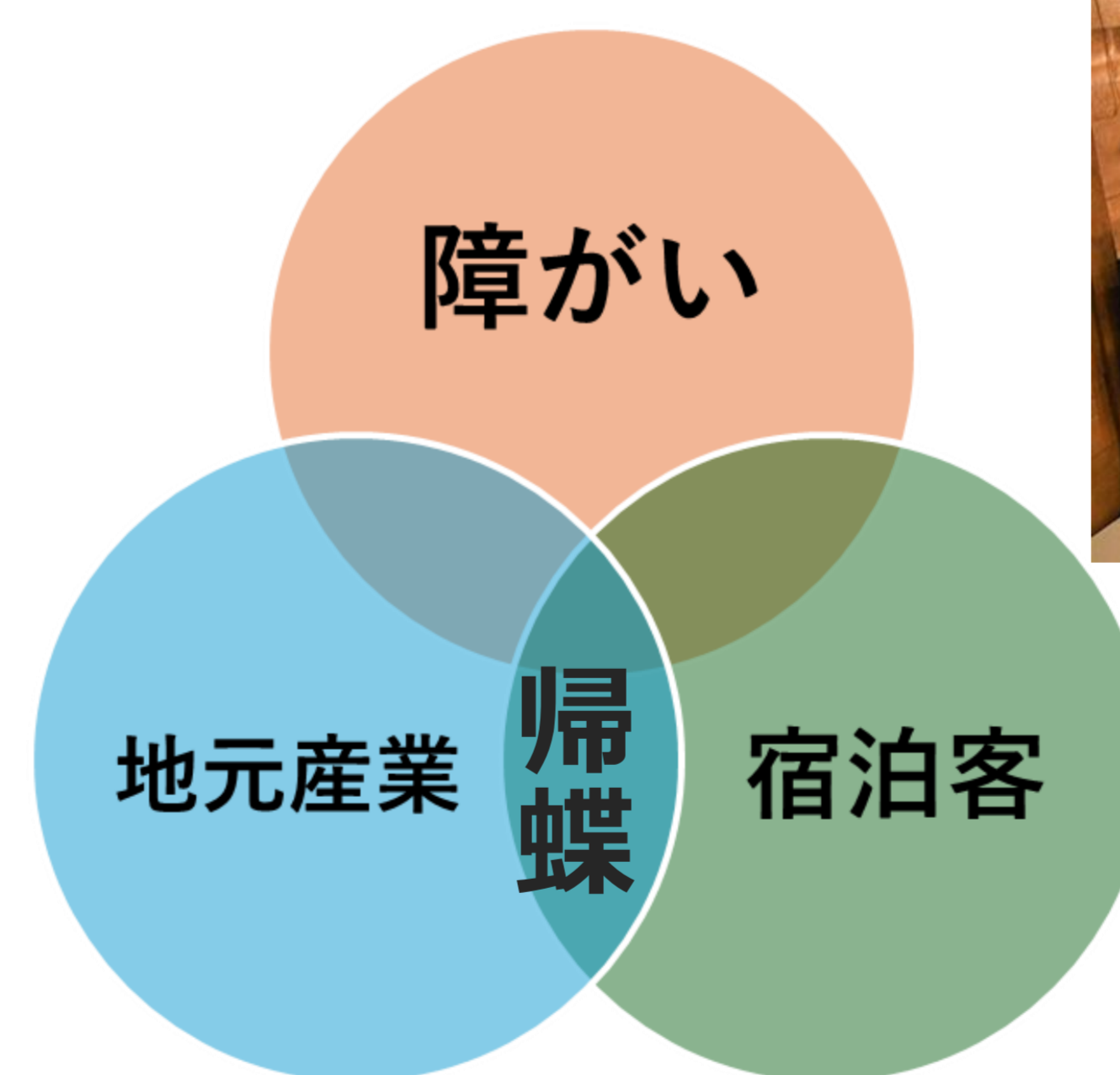
就労継続支援B型事業所シャントエが運営しており、発達障害や精神障害のある方が就職を目指す訓練を行いながら、保護猫という地域課題解決に貢献。



#### 帰蝶 福祉×観光・伝統文化継承

蔵のある町屋を利用して、平日は就労継続支援B型事業所として活用し、週末は宿泊施設として運営。

障がい者が宿泊施設運営に関わる作業や、担い手不足が課題となっている伝統工芸品に関わる仕事を通して、地域の人とふれあいながら活躍し、観光客に岐阜の良さに伝える場所になっている。



## 【獲得できた効果】

### 《実施者から見た効果》

- 障がいをもつ人が誰かの役に立てている喜びや実感を持つことが出来る。
- 観光や保護猫問題などの地域課題解決を福祉施設の運営と組み合わせることで両立が実現すると同時に、地域との協働の機会となる。
- 帰蝶や猫影が地域の魅力的な場になることで、福祉のイメージのリブランディングに繋がる。

### 《住民・市民から見た効果》

- 障がいのある人との交流を通して、共生社会の実現を図ることが出来る。
- 新たな事業が地域の活性化に繋がっている。
- 障がい者が地域で働く姿に接することで、障がい者の働く場・活躍の場がさらに広がる。